

2022.12.6(火)～12(日) かまくら世界映画週間



ウクライナ篇

かまくら世界映画週間は、川喜多夫妻が理念とした“映画が世界を結ぶ”をテーマに、映画を通じての国際交流や文化に対する理解を深めるべく、毎年開催しています。今回は、現在も日々情勢が伝えられるウクライナの映画に目を向け、鎌倉在住のジャーナリスト・映画作家である新田義貴さんに詳しくお話を伺います。



©MA.JA.DE FICTION / ARTHOUSE TRAFFIC / JBA PRODUCTION / GRANIT FILM / DIGITAL CUBE

1 ドンバス

DONBASS

2018年/ドイツ＝ウクライナ＝フランス＝オランダ＝ルーマニア/カラー/121分/DCP
監督:セルゲイ・ロズニツァ
出演:タマラ・ヤツェンコ、ボリス・カモルジン、リーナ・プレスニャエワ

2014年にウクライナからの独立を一時的に宣言し、親ロシア派勢力「分離派」によって実効支配されているウクライナ東部のドンバス地方。武力衝突が繰り返されるドンバスの日常の中で起きた実話をもとに、狂気と混迷を極めた13の不条理なエピソードが語られる。

ドンバス トーク付き上映

ウクライナ取材の先に見えてきたもの

12/10(土) 13:30～ ※1600円

ゲスト 新田 義貴 (ジャーナリスト/映画監督)

東京都出身。慶応義塾大学卒。92年NHK入局。報道局、衛星放送局などで主にアジアや中東、アフリカなど第三世界が抱える問題に焦点を当てた番組制作を行う。2009年に独立映像制作会社「ユーラシアビジョン」を設立。テレビや映画など媒体を超えてドキュメンタリー作品の制作を続けている。



©Best Friend Forever

2 アトランティス

ATLANTIS

2019年/ウクライナ/カラー/109分/DCP
監督:ヴァレンチン・ヴァシヤノヴィチ
出演:アンドリー・ルイマルーク、リュドミラ・ビレカ、ワシーリ・アントニヤク

戦争で身近な人を失った主人公のセルヒーは、兵士の遺体を発掘・回収する作業に従事するボランティア団体の女性と出会う。ロシアとウクライナの戦争が終了する年を2025年に設定し、生と死を目の当たりにしながら生きる人々を描く。



©Arsenal Films, ForeFilms

3 リフレクション

REFLECTION

2021年/ウクライナ/カラー/127分/DCP
監督:ヴァレンチン・ヴァシヤノヴィチ
出演:ロマン・ルーツキー、アンドリー・ルイマルーク、ニカ・ミスリツカ

クリミア侵略戦争が始まった2014年。従軍医師のセルヒーは人民共和国軍の捕虜となり、非人道的な行為によって心と体に負った傷を抱えながら、失われた日々を取り戻そうとする。印象的なワンシーン・ワンカットが物語に臨場感をもたらしている。

	12月6日(火)	12月7日(水)	12月8日(木)	12月9日(金)	12月10日(土)	12月11日(日)	トーク付き上映
10:30	3 リフレクション REFLECTION	1 ドンバス DONBASS	1 ドンバス DONBASS	3 リフレクション REFLECTION	2 アトランティス ATLANTIS	2 アトランティス ATLANTIS	13:30 1 ドンバス
14:00	1 ドンバス DONBASS	1 ドンバス DONBASS	2 アトランティス ATLANTIS +上映解説	1 ドンバス DONBASS	13:30～ トーク付き上映	3 リフレクション REFLECTION	+トークイベント

特別企画料金(展示観覧料含む): 一般1200円、小・中学生600円 チケット発売開始日: 11月12日(土)

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。 ※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

主催: 川喜多・KBSグループ【鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者】

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



Kamakura City Kawakita Film Museum

<https://kamakura-kawakita.org>